

達度通訊 IN ENS



-CONTENTS-

- 環境政策を新たな成長の牽引力に環境大臣 中川 雅治
- 環境再生・資源循環局長に就任して 環境省環境再生・資源循環局長 縄田 正
- 環境省廃棄物規制課長に就任して環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課長 成田 浩司
- 再生可能エネルギー活用によるCO₂削減加速化戦略(中間報告)環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室長 水谷 好洋
- ●都道府県の産廃対策 [シリーズ第26回] 鳥取県
- ●財団のうごき
- ●経営塾



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

(株)丸幸

経営統括本部本部長 経営塾第13期生 渡邉 俊介 ■ 企業名 株式会社丸幸

|所在地 千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷3-3-40

| 代表者 代表取締役 渡邉 均

■ 創 業 1974年2月4日

■ 設 立 1983年9月1日

資本金 1,000万円

■はじめに

(株)丸幸の創業は古紙回収業からスタートし、 今年で43年目を迎えました。その後、事業系一 般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、産 業廃棄物中間処分業、解体業、ペットボトルリサ イクルを主軸とし、千葉県内をメインフィールド に事業展開をしております。

「世のため人のため」という創業当時の理念の下、現在もお客様ニーズに応えるべく、また地域の方に愛される会社を目指し約130人の従業員が邁進し、企業活動を展開しております。

丸幸の"丸"は、両手の指先を丸く合わせた形。 多くの知恵が集めるイメージであり、地球の形を 意味しております。その地球上に住む全ての生き 物が幸せであるようにとの願いが「株式会社丸幸」 の社名へ繋がっております。

■収集運搬

現在、関東圏全域と宮城県の許可を取得し、低 炭素化を目指し効率的な運搬を行っております。 弊社中間処分場とはもちろんのこと、近隣協力業 者とも連携を図り、継続的な循環型社会の形成に 向け、営業活動を推進しております。

車両の種類に関しては、平ボディ車・アームロール車・ウィング車・ユニック車・パッカー車・強力吸引車等を重量別に保有しておりますので、多種多様な廃棄物の運搬が可能です。

安全運行管理のために、全運搬車両(一般廃棄



柏オフィス(営業本部)

物収集運搬車両含む)にドライブレコーダーを搭載しております。これにより、リアルタイムに位置情報の確認、自身では気付くことが出来ない運転のくせを発見し、さらに、車内外のカメラ設置により不安全運転の抑制を図っています。

また、「数項目での点数評価」「最高速度の管理」「連続走行の管理」を行い、安心・安全なドライバーを育成し、より地域に愛される会社を目指しております。

■中間処理

2013年にフルリニューアルオープンした「エコ・ファクトリー神々廻の森 (千葉県白井市)」を拠点とし、産業廃棄物の中間処理を行っております。

当施設は、森は自然の命が生まれ育まれるところであるため、「人間と自然が共生し新たな命が生まれる場所。そして羽ばたく場所」をテーマにこの地を選定いたしました。敷地面積9,492.62m²、処理能力日量2,200tを有し、様々な品目に対応





エコ・ファクトリー神々廻の森

することで価値を生み出すリサイクル施設です。 主に、廃プラスチック類・木くず・紙くず・がれ き類・ガラスくず・コンクリートくずおよび陶磁 器くず・繊維くず・金属くず・ゴムくずを扱って おり、保有設備(二軸破砕機1機、一軸破砕機1機、 自走式破砕機2機、蛍光管破砕機1機、圧縮機1機、 破砕溶融機1機、混合廃棄物選別機1機)により、 中間処理後、再生および再資源化を行っております。

まず、混合廃棄物選別機に関しては、従来中間 処理が困難だった微小な廃棄物を再度、篩分けし 再資源化を図っております。最終処分場が逼迫し ている中で、次世代に最高の環境を残すためにも、 弊社に入ってきた廃棄物は、リサイクル率100% を目指しております。

そのほかにも、発泡スチロールからインゴット の製造、廃プラスチック類・木くず・紙くず・繊 維くず等からRPFの製造、木くずからチップの製 造など、原料および燃料の製造工場としての役割 も担っております。

■未来へ

未来へ向け2つの使命があると考えております。

1つ目は、持続可能な循環型社会を構築し、次 世代へ美しい地球を引き継ぐことです。

弊社は、リサイクルは「離再来」と当て字で表し ております。「廃棄されて離れていった資源が、 形を変えて再び戻って来る」という意味であり、 私たちの願いです。

廃棄物といえども、摩訶不思議な何かが存在し ているわけではなく、必ず再資源化できる物質で あると考えますが、今尚、再資源化が困難な廃棄 物も存在していることも確かです。限りある資源 を、そして生活環境を守り次世代に美しい地球を、 最高の環境を引き継ぐことが私たちの責任であり、 使命であると考えております。そのためにも、既 存の処理方法の更なる強化、促進。また新たな処 理方法の研究、構築が急務であり、次世代に美し い地球を引き継ぐためには必要不可欠であります。

2つ目は、業界革新を図り、人気職種にするこ とです。

廃棄物処理業が今日まで陽の目を見てこなかっ た原因の1つは、「何をしているかあまり知らな い」ということもあると考えております。弊社と いたしましては、まずはこの業界を「知ってもら うこと」から始めようと考え、様々な取組を行っ ております。こどもの社会科見学誘致やメディア への露出 (CM出演や著名人との廃棄物談義番組 出演)、車両(電車)ラッピング、野球スタジアム への看板掲示等々を実施し、オープンでより身近 に感じていただける取組を行っております。

また新卒採用も5期目に突入し、若い人材確保 にも注力しております。次世代へ美しい地球を引 き継ぐためには、次世代の若く新しい力が不可欠 です。この魅力のある、そして希望のある業種を 一人でも多くの人により知ってもらい目指しても らえるよう、今後も日夜新しい取組を通し、努力 して参ります。